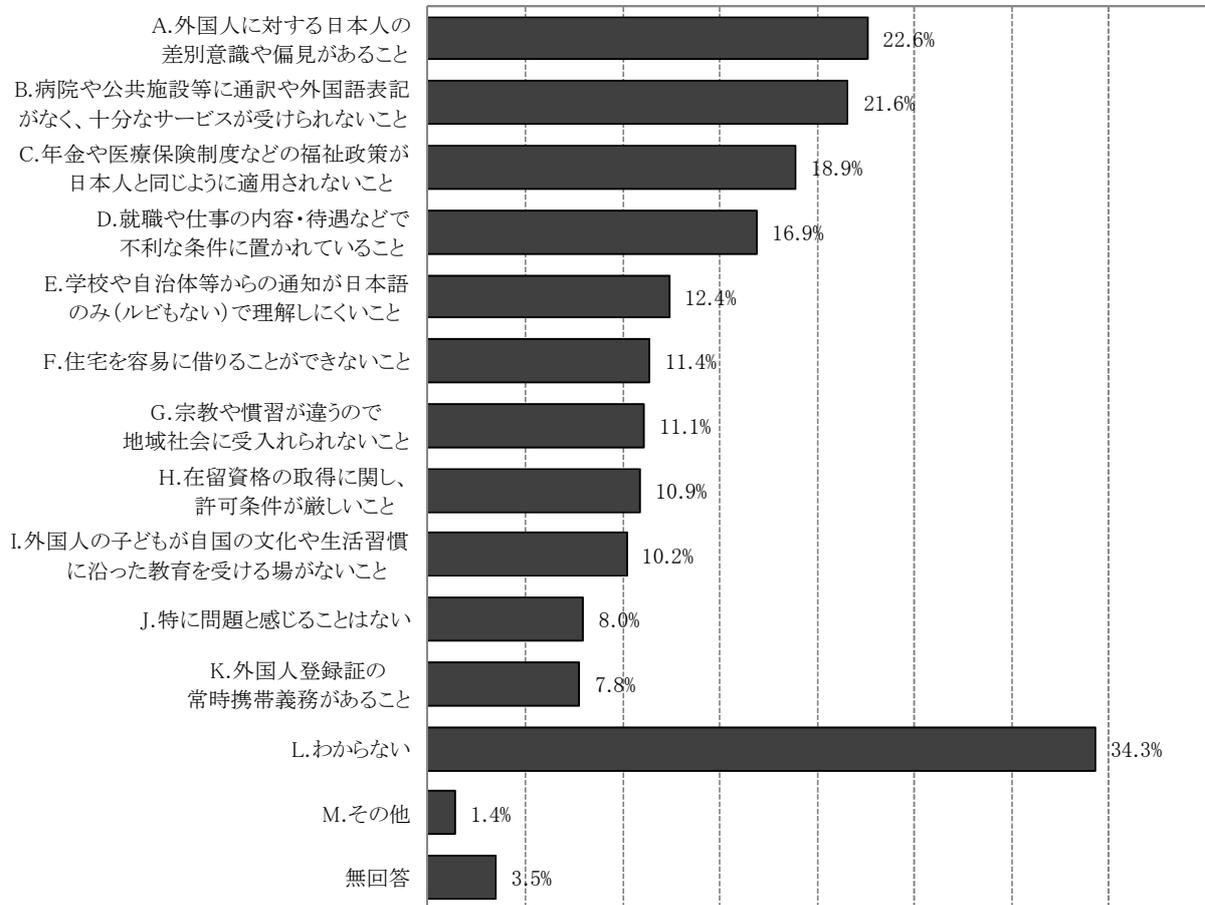


問 24 (外国人にとって生活の支障となっているもの)

あなたは、日本で暮らす外国人にとって、どのようなことが支障になっていると思いますか。
次の中からあなたの考えに近いものをお答えください。(はいくつでも)



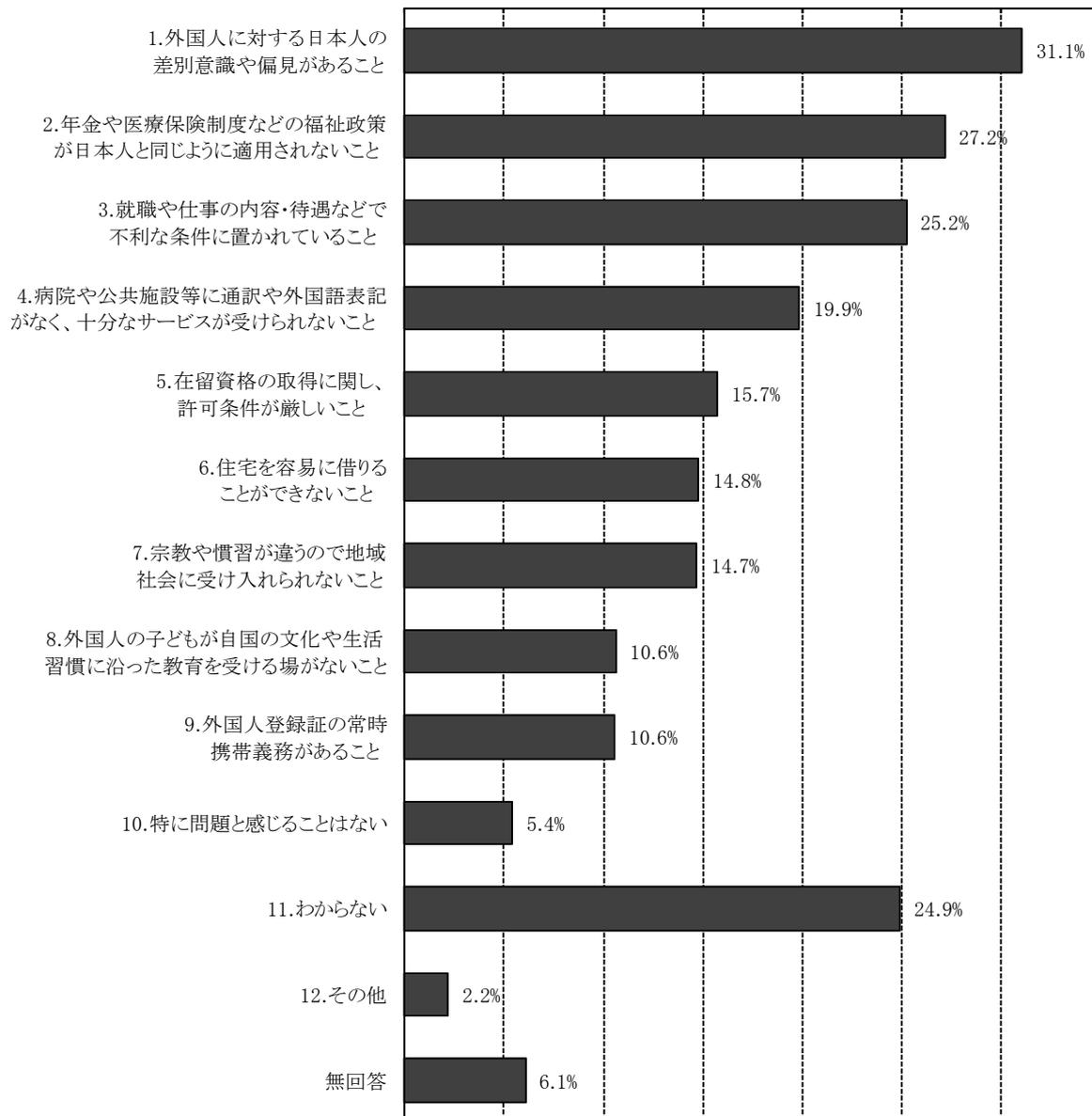
■日本で暮らす外国人にとって支障となっていることは、「A.外国人に対する日本人の差別意識や偏見があること」(22.6%)、「B.病院や公共施設等に通訳や外国語表記がなく、十分なサービスが受けられないこと」(21.6%)が高くなっている。

なお、「L.わからない」が34.3%に上る。

【参考】 設問文、選択肢の文言の一部が前回に比べて異なっているため、参考としてご参照ください。

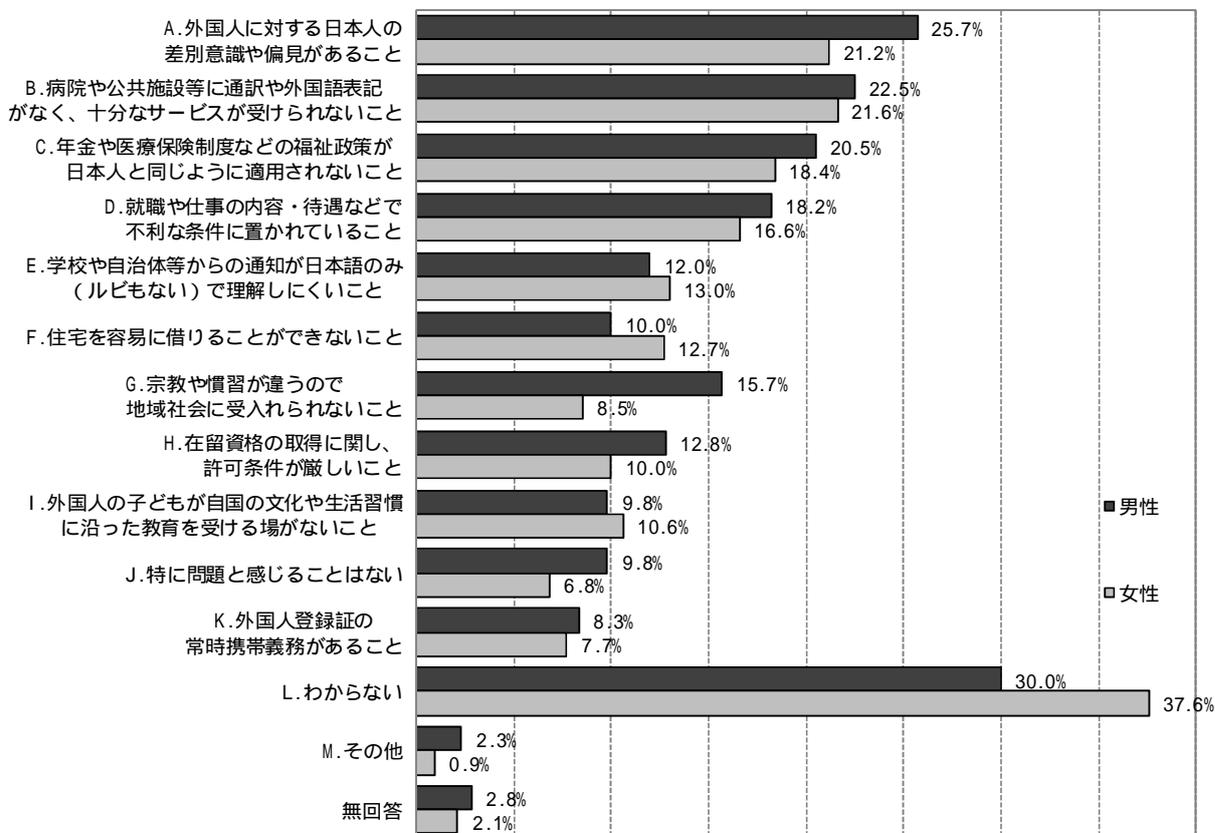
前回調査（H17 鳥取県人権意識調査）

問 21 あなたは、日本で暮らす外国人にとって、どのようなことが支障になっていると思いますか。次の中からあなたの考えに近いものをお答えください。（はいくつでも）



【性別・年齢との関係】

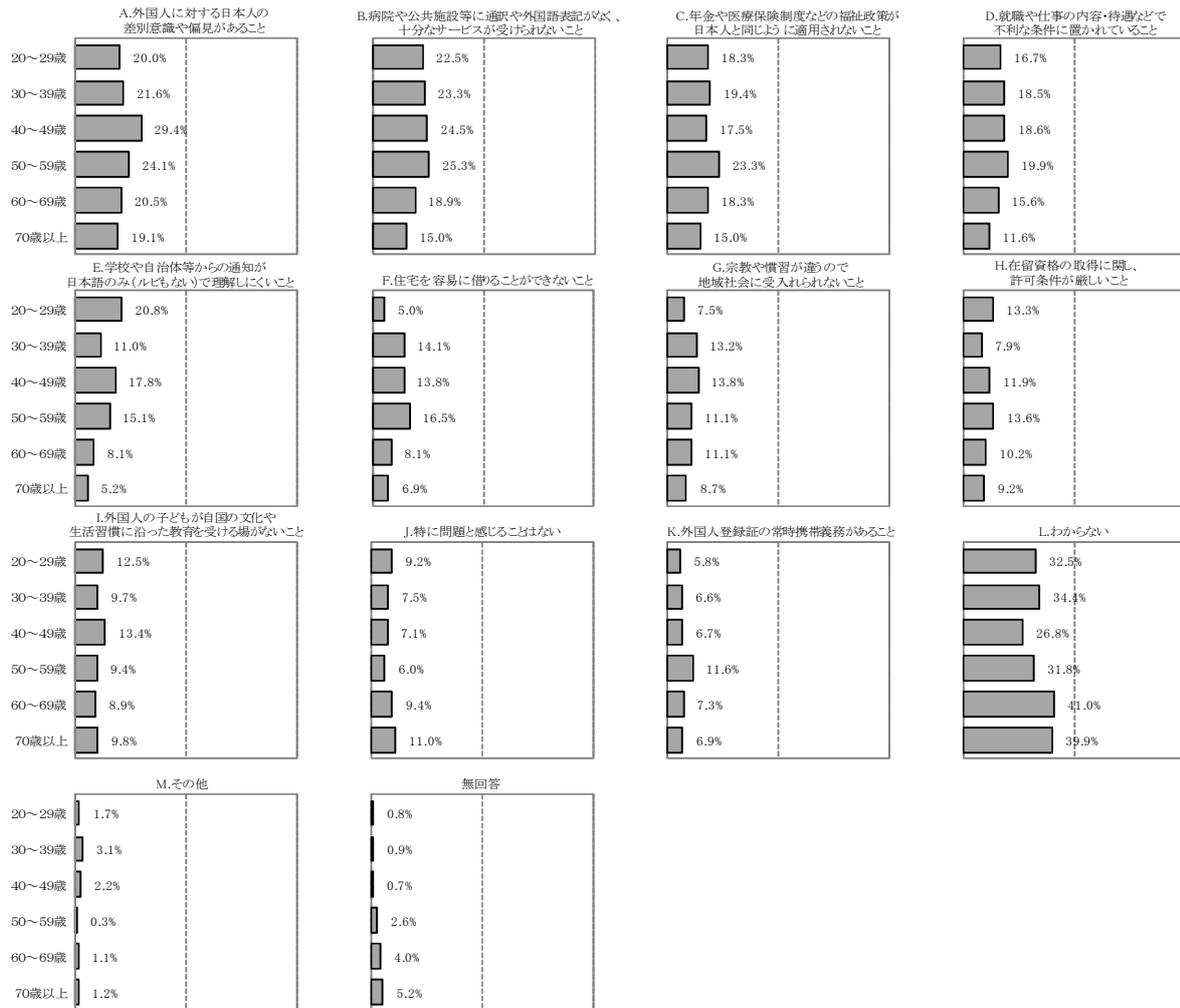
〔図 24-1〕 問 24 外国人にとって生活の支障となっているものと性別の関係



性別で見ると〔図 24-1〕、男女とも「L. わからない」(男性 30.0%、女性 37.5%) が最も高い。

個別の項目では男女とも、「A. 外国人に対する日本人の差別意識や偏見があること」(男性 25.7%、女性 21.2%) が最も高く、次いで「B. 病院や公共施設等に通訳や外国語表記がなく、十分なサービスが受けられないこと」(男性 22.5%、女性 21.6%) となっている。

〔図 24-2〕 問 24 外国人にとって生活の支障となっているものと年齢の関係

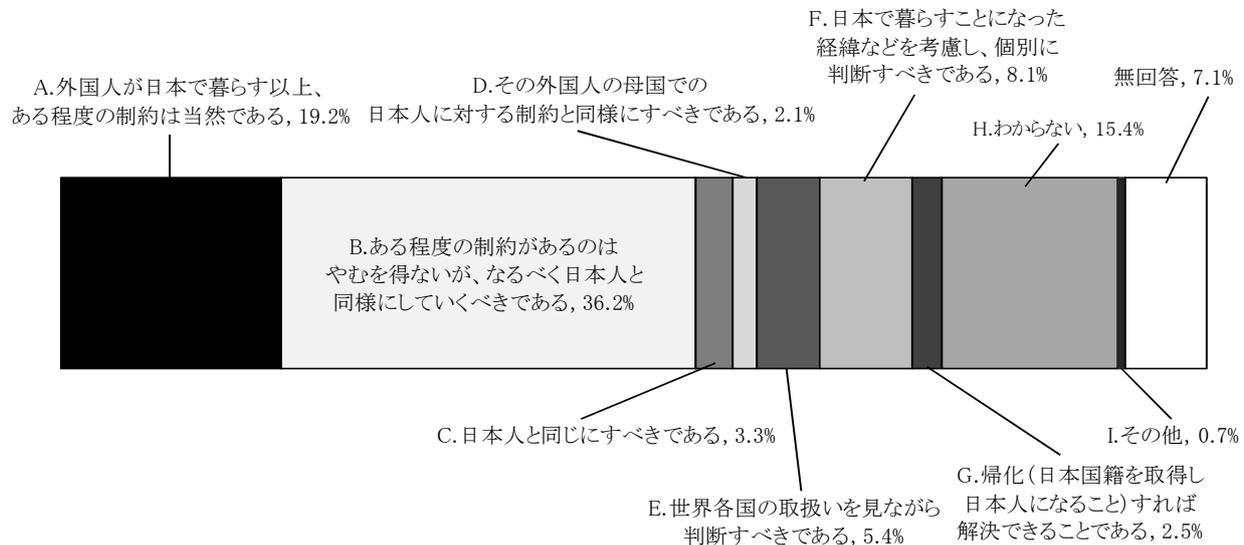


年齢別でみると〔図 24-2〕、40 歳代以外では「L. わからない」が最も高くなっている。

個別の項目では、20 歳代、30 歳代、50 歳代で「B. 病院や公共施設等に通訳や外国語表記がなく、十分なサービスが受けられないこと」、40 歳代、60 歳代、70 歳以上では「A. 外国人に対する日本人の差別意識や偏見があること」最も高くなっている。

問 25 (外国人が受けている制約をどう思うか)

日本で暮らす外国人には、外国人登録証の常時携帯義務や日本国籍を必要とする職業に就職できないなど、制度上の制約がありますが、このことについてどのように思いますか。次の中からあなたの考えに一番近いものをお答えください。(は1つだけ)

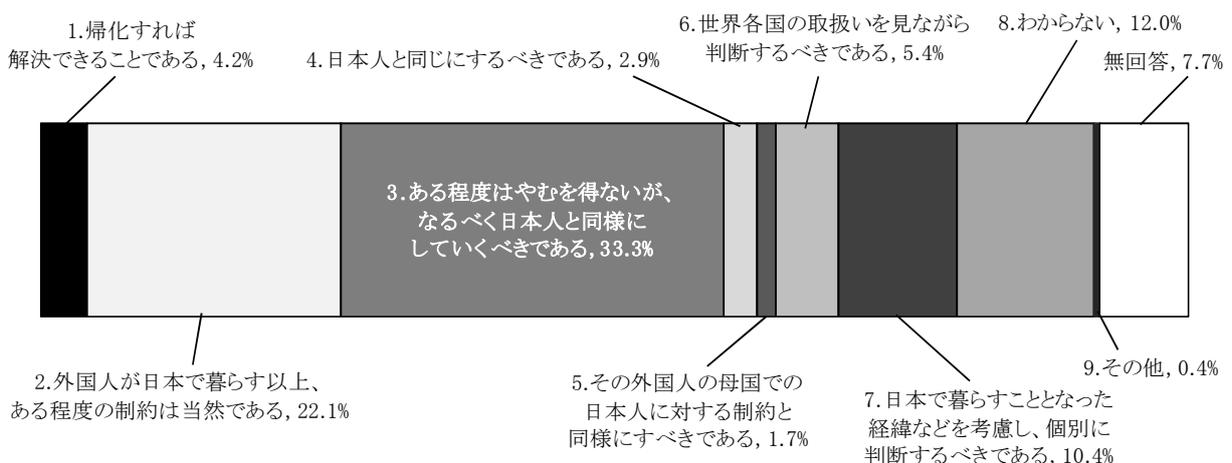


■日本国内で暮らす外国人が受ける制約について、「B. ある程度の制約があるのはやむを得ないが、なるべく日本人と同様にしていすべきである」(36.2%)が最も高く、次いで「A. 外国人が日本で暮らす以上、ある程度の制約は当然である」(19.2%)となっている。

【参考】 設問文、選択肢の文言の一部が前回に比べて異なっているため、参考としてご参照ください。

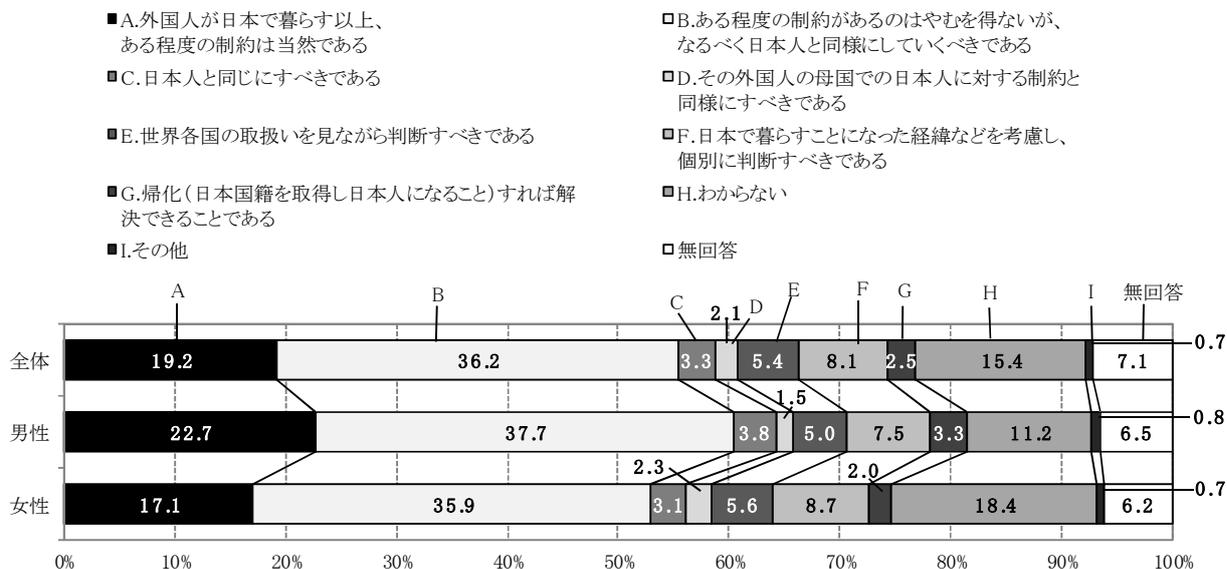
前回調査 (H17 鳥取県人権意識調査)

問 22 日本で暮らす外国人には、外国人登録証の常時携帯義務や日本国籍を必要とする職業に就職できないなど、制度上の制約がありますが、このことについてどのように思いますか。次の中からあなたの考えに一番近いものをお答えください。(は一つだけ)



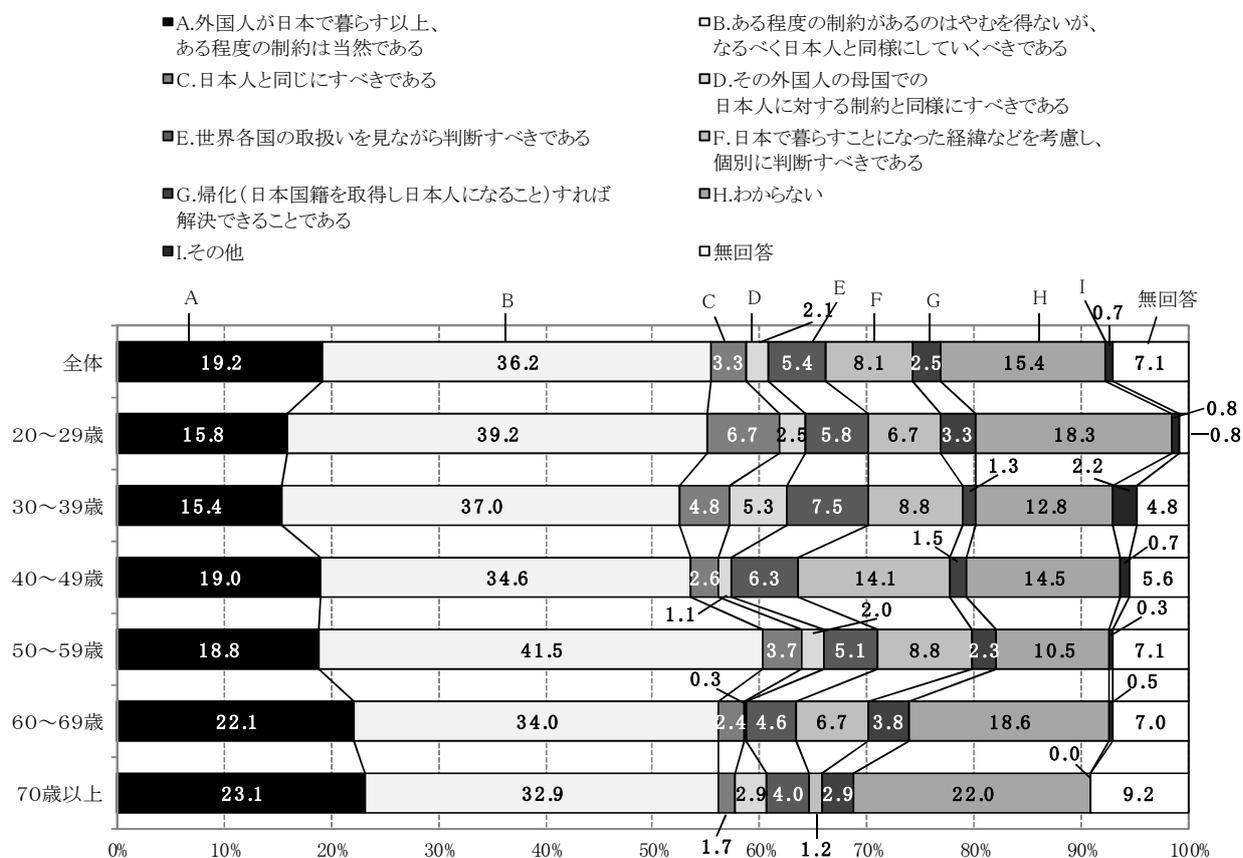
【性別・年齢との関係】

〔図 25-1〕 問 25 外国人が受けている制約をどう思うか と 性別 の関係



性別でも「図 25-1」男女とも「B.ある程度の制約があるのはやむを得ないが、なるべく日本人と同様にしていすべきである」(男性 37.7%、女性 35.9%) が最も高くなっている。

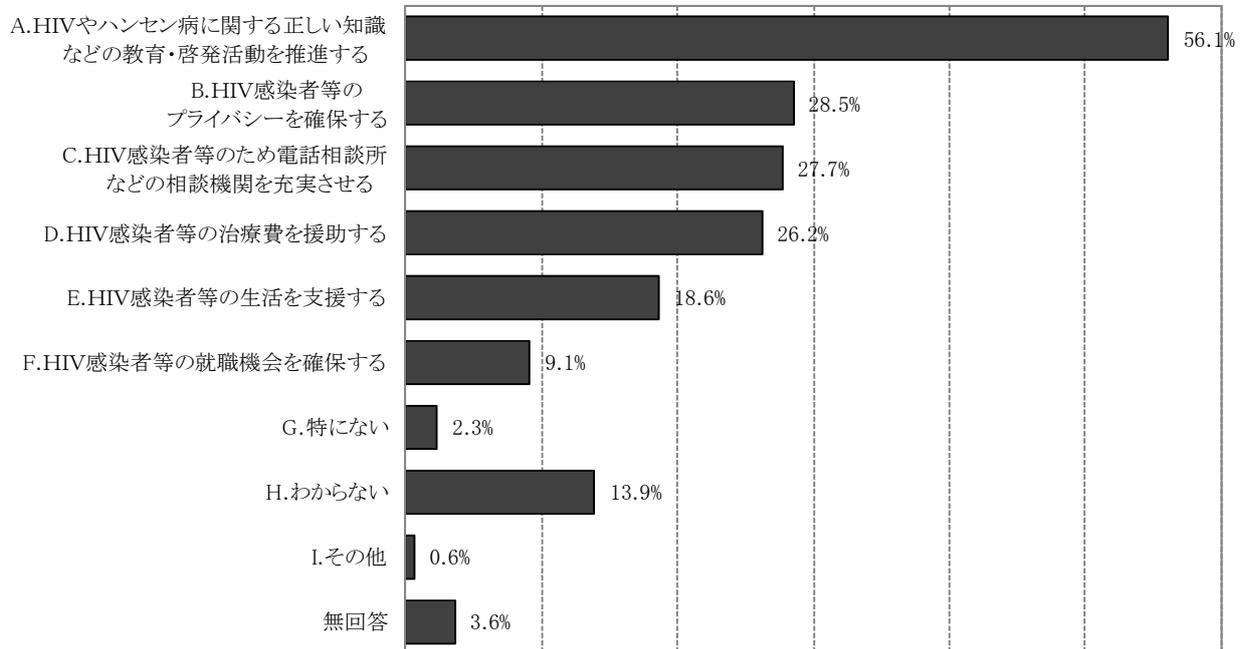
〔図 25-2〕 問 25 外国人が受けている制約をどう思うか と 年齢 の関係



年齢別でも「図 25-2」、「B.ある程度の制約があるのはやむを得ないが、なるべく日本人と同様にしていすべきである」が全ての年代で最も高くなっている。

問 26 (H I V感染者、ハンセン病患者等の人権を守るために必要な取り組み)

あなたは、H I V感染者やハンセン病患者・回復者等の人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。次の中から特に重要と思うものをあげてください。(は3つ以内)

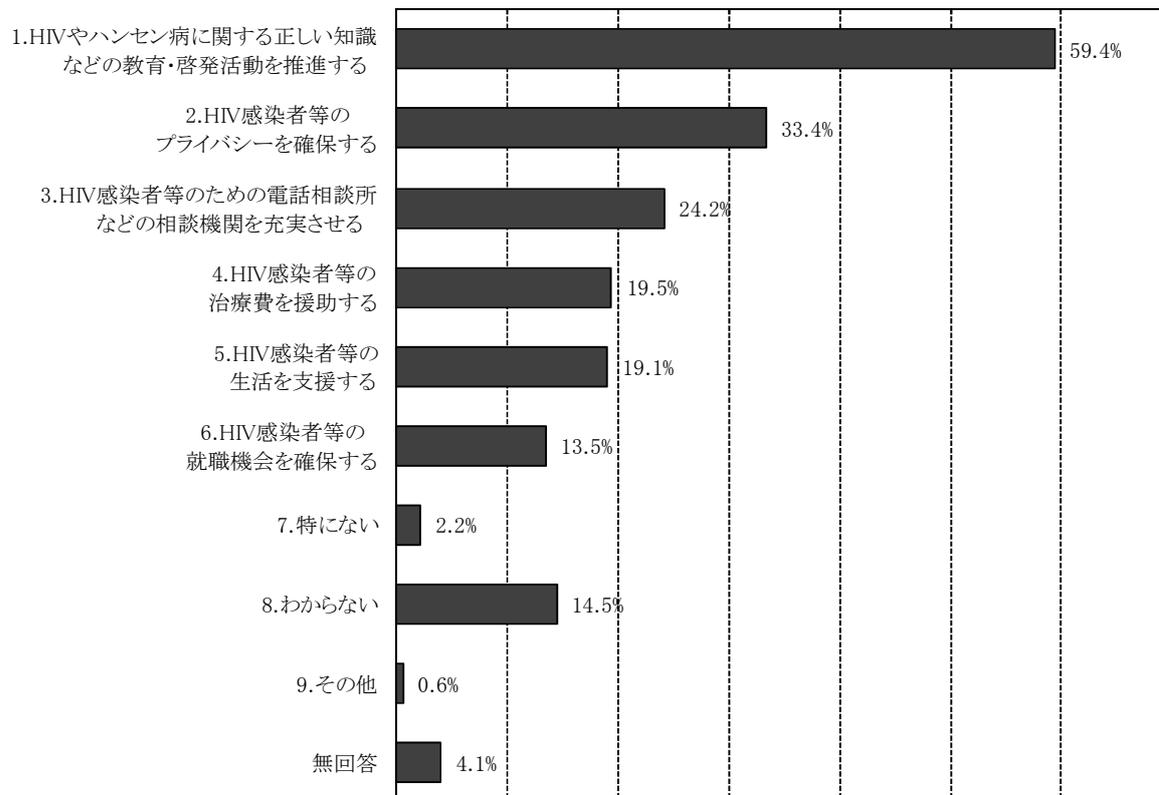


■H I V感染者、ハンセン病患者等の人権が守られるために必要と思うことは、「A. H I Vやハンセン病に関する正しい知識などの教育・啓発活動を推進する」が56.1%で最も高くなっている。次いで「B. H I V感染者等のプライバシーを確保する」(28.5%)、「C. H I V感染者等のため電話相談所などの相談機関を充実させる」(27.7%)、「D. H I V感染者等の治療費を援助する」(26.2%)が高くなっている。

【参考】 設問文、選択肢の文言の一部が前回に比べて異なっているため、参考としてご参照ください。

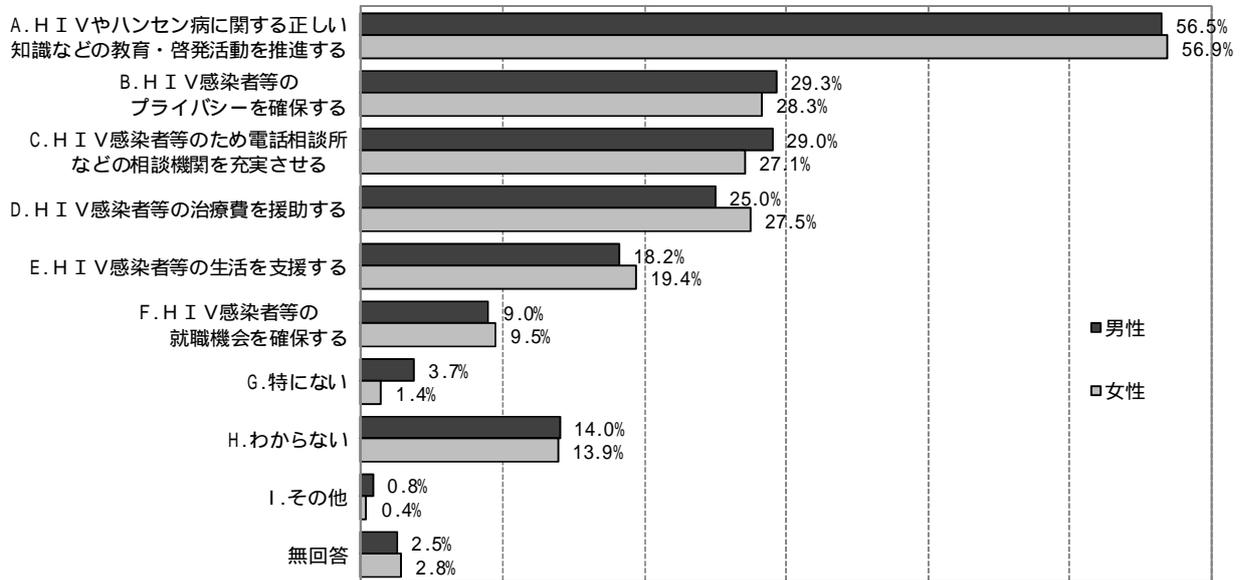
前回調査（H17 鳥取県人権意識調査）

問 27 あなたは、H I V感染者やハンセン病患者・元患者の人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。次の中から特に重要と思うものをあげてください。（ は3つ以内）



【性別・年齢との関係】

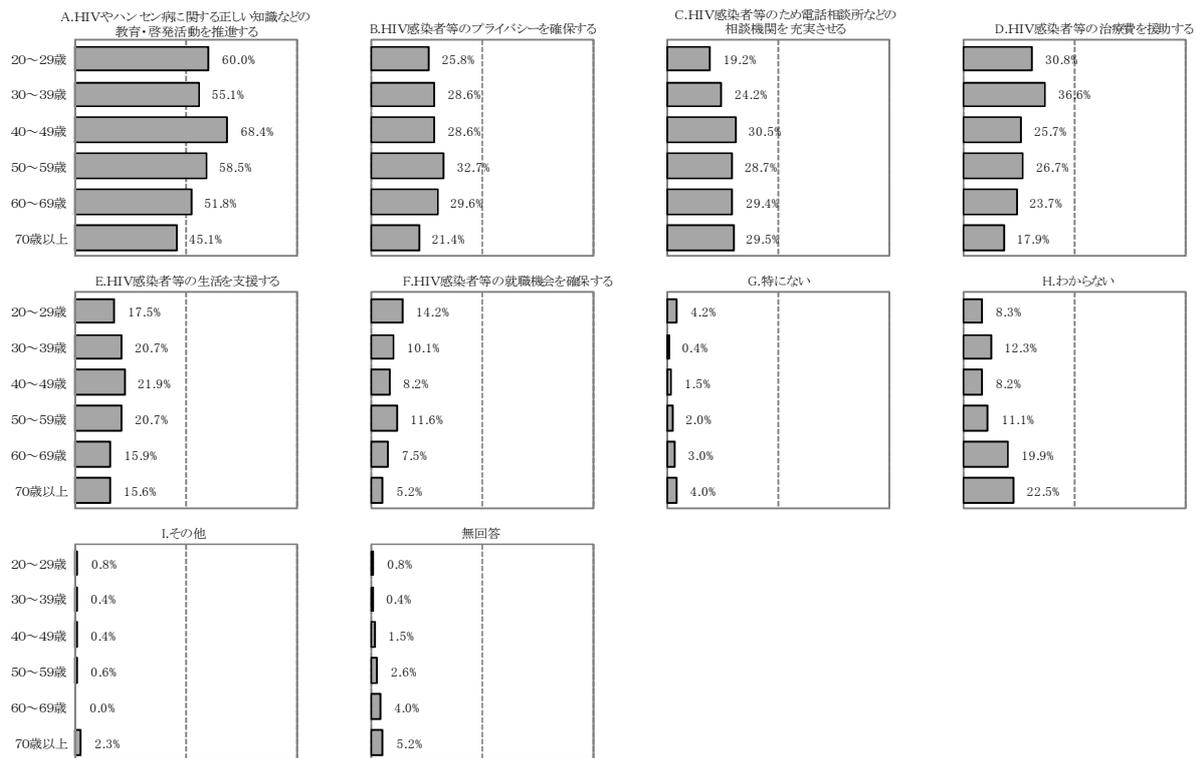
〔図 26-1〕 問 26 HIV感染者、ハンセン病患者等の人権を守るために必要な取り組みと性別の関係



性別でみても〔図 26-1〕、男女とも「A. HIVやハンセン病に関する正しい知識などの教育・啓発活動を推進する」(男性 56.5%、女性 56.9%) が最も高くなっている。

〔図 26-2〕 問 26 HIV感染者、ハンセン病患者等の人権を守るために必要な取り組みと

年齢の関係

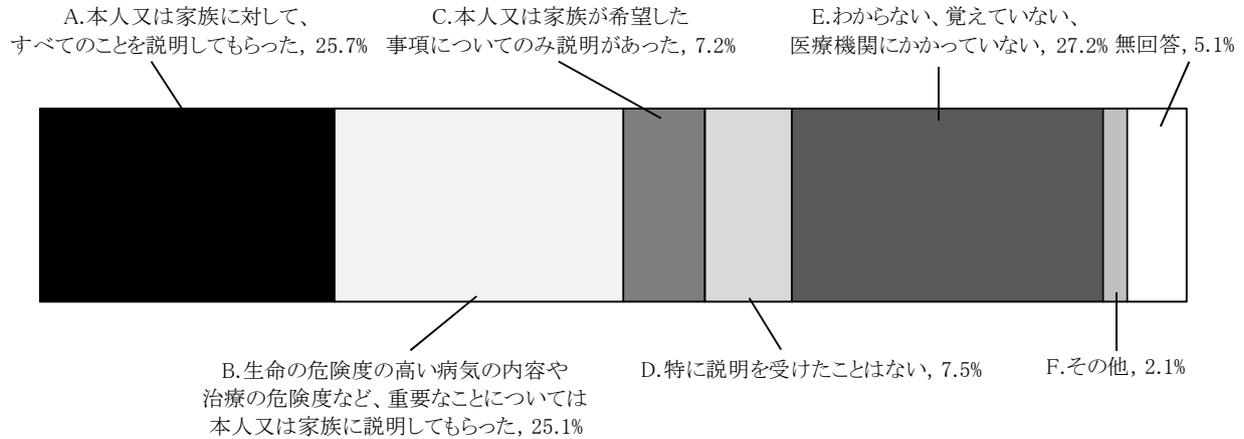


年齢別でも、「A. HIVやハンセン病に関する正しい知識などの教育・啓発活動を推進する」が全ての年代で最も高くなっており、20歳代、40歳代では6割を超えている。

また、「B. HIV感染者等のプライバシーを確保する」については50歳代（32.7%）が、「D. HIV感染者等の治療費を援助する」については30歳代（36.6%）、20歳代（30.8%）が高くなっている。

問 27 (インフォームドコンセント 医療機関の対応)

インフォームドコンセント(医療内容について十分説明を受けたうえで治療方法について同意すること)について、あなたが直近で受けた医療機関の対応は次のうちどれに近いですか。(は1つだけ)

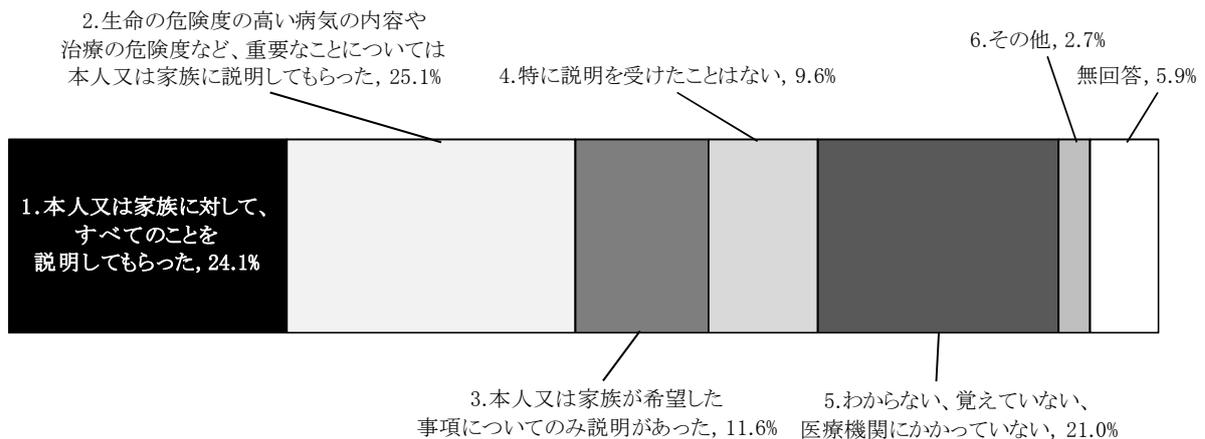


■インフォームドコンセントについて「A. 本人又は家族に対して、すべてのことを説明してもらった」(25.7%)、「B. 生命の危険度の高い病気の内容や治療の危険度など、重要なことについては本人又は家族に説明してもらった」(25.1%)が高くなっている一方、「D. 特に説明を受けたことはない」(7.5%)、「C. 本人又は家族が希望した事項についてのみ説明があった」(7.2%)となっている。

【参考】 設問文、選択肢の文言の一部が前回に比べて異なっているため、参考としてご参照ください。

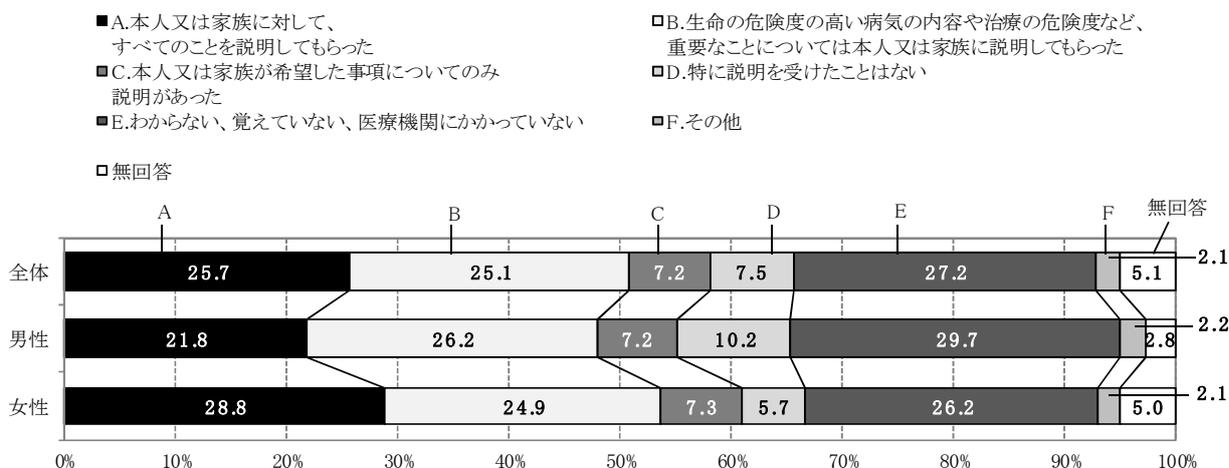
前回調査 (H17 鳥取県人権意識調査)

問 28 「インフォームドコンセント」(医療内容について十分に説明したうえで治療方法等について同意すること「納得医療」)が患者の人権として重視されていますが、あなたがこれまでに受けた医療機関の対応は次のうちどれに近いですか。(は1つだけ)



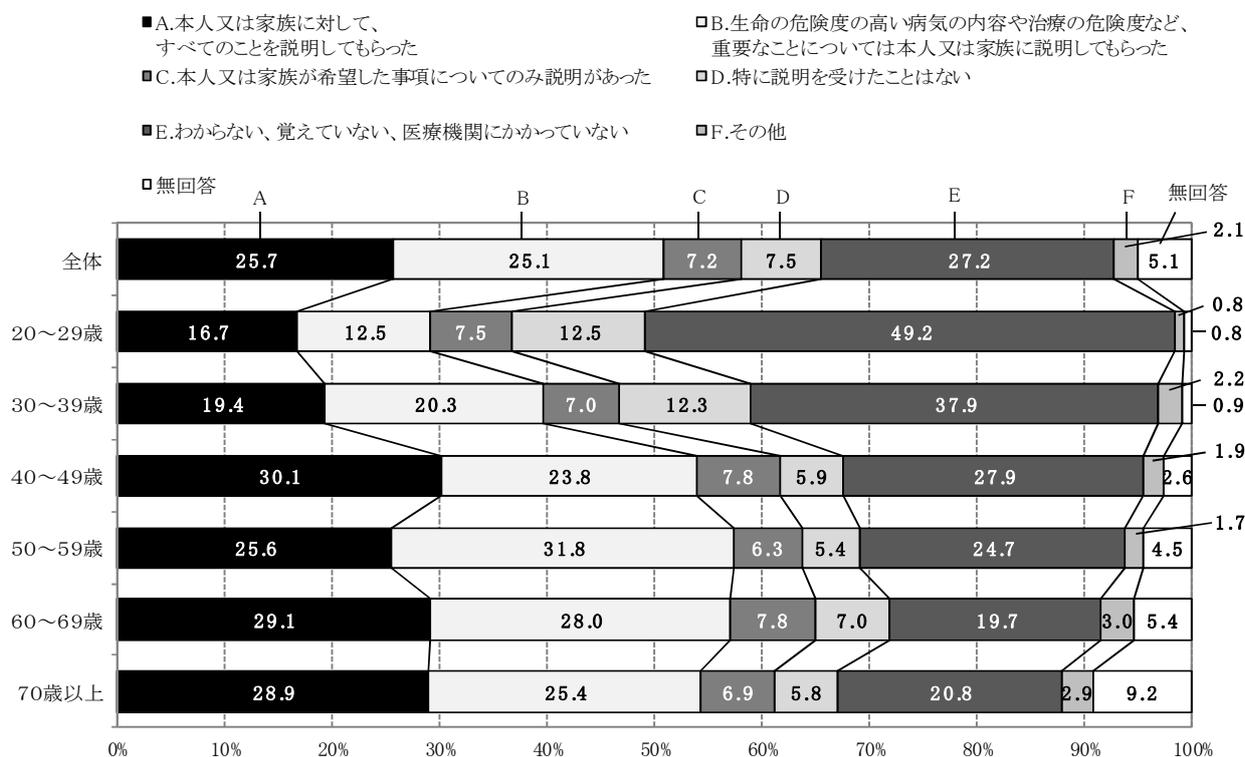
【性別・年齢との関係】

〔図 27-1〕 問 27 インフォームドコンセント 医療機関の対応 と 性別 の関係



性別でみると〔図 27-1〕、「E.わからない、覚えていない、医療機関にかかっていない」を除けば、男性では「B.生命の危険度の高い病気の内容や治療の危険度など、重要なことについては本人又は家族に説明してもらった」(26.2%)が最も高く、女性では「A.本人又は家族に対して、すべてのことを説明してもらった」(28.8%)が最も高くなっている。

〔図 27-2〕 問 27 インフォームドコンセント 医療機関の対応 と 年齢 の関係



年齢別でみると〔図 27-2〕、「A.本人又は家族に対して、すべてのことを説明してもらった」は40歳代(30.1%)が高く、「B.生命の危険度の高い病気の内容や治療の危険度など、重要なことについては本人又は家族に説明してもらった」は50歳代(31.8%)が最も高かった。「D.特に説明を受けたことはない」は20歳代(12.5%)、30歳代(12.3%)で他の年代より高くなっている。